



NPO日本朗読文化協会

朗読ニュース

2012年夏号



加賀美講座「百人一首」Aステージ



3行ラブレター

10周年
「朗読の日」



VoiceK



60歳のラブレター



オリオン「ゆうれい貸屋」



グループたんぼぼ「つなみ」



神田外語大学「声のことばの勉強会」
平家物語



グループ「虹」
忘れないでください3.11

朗読の日



A ステージ



司会 宮崎弥生



A ステージフィナーレ



長野淳子



青木ひろこ



松本由美子



伊吹よし子



渡邊和子



五十嵐和子



小黒三重子



加賀美先生



3行ラブレター



杵屋巳太郎

B ステージ



司会 長野淳子



B ステージフィナーレ



安倍眞壽美



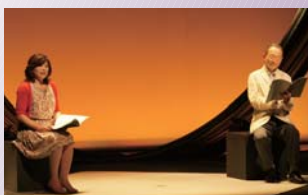
照井恒衛



古内恵美子



稲本由美子



池田美智恵



菊地 宏



白田敦子



本間恵子



児玉朗



岩瀬弥永子



C ステージ



司会 塩田睦子



永井喜代子



葛城てる子



松田麗子



柴田純子



近藤とうこ



有賀康子



虹



VoiceK



C ステージフィナーレ

D ステージ



司会 安倍眞壽美



D ステージフィナーレ



中村悦子



吉田周子



塩田睦子



小川弘子



宮内佳代子



ねじめとしえ



おとぼけ SUN 人衆



見澤淑恵



佐々木富紀



グループたんぽぽ



E ステージ



司会 飯島晶子



早川とし子



深澤真理子



渡部玲子



加藤敬子



那須俊子



安田綾子



中村美智子



田中邦子



60歳のラブレター



福本富美



望月鏡子



百人一首





10周年記念公演『朗読の日』ご挨拶

大成功！大成功！ “朗読の日”

この一冊が人生を変えた そんな朗読がここにある…をテーマに、協会の10周年記念公演「朗読の日」が6月15日（金）から17日（日）に協会員一丸になって盛大に開催された。より多くの人に参加出来る様15分ではなく10分以内の朗読を主とする演出方針で開催された。「朗読の日」イコール朗読のフェスティバルの主旨が年々会員に浸透し、お手伝いを含む博品館の入館証が180枚を要したのは初めてであった。観客数も5ステージで1300強と昨年の観客数を大きく上回った。協会の「朗読の日」に対する関心が多くの人々の間に高まってきている事で、実に嬉しい事である。相変わらず例年のごとく悲喜こもごもであったが…。特筆すべきは、ハリウッド化粧品のご好意による女性のメイクアップ。20歳も若返って見たのは私だけの感想ではないと思われる。新しい演目として、学生による“3行ラブレター”が観客を大いに楽しませた。さらに、加賀美朗読名誉会長の指導の下での古典を楽しむ「百人一首」の群読は、古典の良さを更に喚起するものであった。また、長唄三味線の人間国宝杵屋巳太郎さんと「60歳のラブレター」のコラボは、加賀美朗読名誉会長の古典を楽しむと共に、観客に多大な感銘を与えた。会員一同、来年の「朗読の日」のさらなる発展を祈念して盛大裡に協会一大イベントが終了した。会員皆様方の協力に感謝。



阿部義高

～2012「朗読の日」を振り返り～

のべ150人参加の5ステージ！無事終了し、ホッとしています。今年は個人参加の作品だけでなく、会員の皆さんで作りに上げていく作品が多くなってきたのが、とても嬉しく感じました。



飯田輝雄

加賀美幸子さんと総勢26名参加の「百人一首」、学生参加の「3行ラブレター」、3.11をテーマにした「つなみ」、「忘れないでください」…そして「朗読の日」ではおなじみのグループ「VoiceK」、「オリオン」、「声のことばの勉強会」、「おとぼけSUN人衆」の皆さん、…人間国宝・三味線の杵屋巳太郎さんとの「60歳のラブレター」も素敵でした。

又、北海道、秋田、大阪、四国と、全国から参加の皆さんもお疲れさまでした！

ご希望に添えないことも多々あったと思いますが、皆さまのご協力あつての楽しい会でした。感謝！感謝！です。これからも朗読を通しての社会貢献、がんばりましょう！

舞台裏からの声

10周年記念公演の大舞台の出演者様のメイクをハリウッド化粧品にご依頼していただきありがとうございました。5月に『自分でできるステージメイクアップ講座』に参加された方に『今日は自分でメイクしてきました』と、明るく声をかけてくださり嬉しかったです。作品に合わせてメイクさせていただきましたが、メイクの途中で作品のお話を伺っているうちに、メイクスタッフ全員作品の主人公を創らせていただいている喜びに溢れ、楽屋にいながら朗読の世界に引き込まれていきました。表情、声、しぐさの美しさはもちろん、人生で一番大切な未来へのメッセージ、希望、人に対する優しさをたくさんの方々に伝えていくことができる朗読の素晴らしさ。改めて日本朗読文化協会との出会いに感謝申し上げます。



ハリウッド化粧品
伊藤勝江

水戸からご来場の山本さんご夫妻

朗読協会は北海道、東北、近畿、四国そして関東と全国に会員がおります。そしてまた私たち会員を応援して下さる方も……。特に博品館の「朗読の日」は会員の知人だったり、チラシを見たりで多くの方にお客様としてご来場いただいております。



5年ほど前長距離バスの中で隣り合わせになった会員飯島晶子さんの叔母さんと山本さん、何気なく話した会話が朗読のこと。「私の姪も朗読しますよ」そして博品館の話。山本さんはそれではというので出かけた博品館の「朗読の日」、それ以来すっかりファンになってくださいました。それから毎年「朗読の日」に通ううち、田中邦子さんはじめ何人もの会員の方と交流されました。昨年も今年も、東京に宿泊され、全ステージ、ご夫婦でご観覧くださいました。「今年は皆さん、レベルが上がりましたね」とのご感想。感謝！！

○ 初出演を終えて

「百人一首」に出演しました。千年前の歌人が作った和歌を時を超えて今、博品館の舞台上で十周年記念「朗読の日」に私が読むことが出来るということが、とても嬉しかったです。私大好きな紫式部の歌で、本番で紫式部さんに「どうぞ、あなたの気持ちを込めて読めますように」と祈りつつ読みました。加賀美先生が歌について詳しく調べて教えて下さったことに感激し、大変感謝しています。そして演出の先生・素敵な舞台を作って下さった皆様、有難うございました。



伊藤富美子

「これやこの一 行くも帰るも別れては一 知るも知らぬも 逢坂の関一」毎年お正月には家族で百人一首をするのが私家の行事でした。その時の詠み手は母（97歳健在）で、母の詠み方の抑揚が幼い私の身につけていました。小さい時に身体に染み付いた事は忘れないものなのだなど、懐かしい思いでこの歌を詠みました。



城所ひとみ

監督が付きゲネプロも行われる舞台出演は全く初めての体験でした。本番に向けての私達出演者の練習は言うまでもないことですが、当日を完成させるための多数のスタッフの方々のご苦労を垣間見ました。又朗読者人口がこんなにも豊かに多いことも初心者の私にとって想像をはるかに超える驚きでした。百人一首をただ詠むのではなく、きちんとした舞台に立つことで、歌の力、言葉の力をより強く感じられるような気がしました。



轟由美子

「夢としか思へぬほどにライト浴びわれ和歌を詠む初舞台の日」
舞台での朗読を加賀美先生に背中を押されて初めてすることになった。「百人一首」小学生の教科書掲載の歌・恋の歌を計二六首。一三人の仲間とそれぞれ二首ずつ詠む。選んだ二首をどう表現し詠むのか何度も繰り返し練習をした。本番当日、楽屋での先輩方のさりげない励ましや楽しい雰囲気作りで、緊張した気持ちがほぐれてくる。「自分の息づかいで詠んで。勉強したことはすべて忘れてね。」との加賀美先生のアドバイスをいただいた。舞台上に立ちマイクの前で自然に詠んでいる自分がある。どの方も最高の詠みであった。沢山の方との出会いに感謝をしている。



鳥羽さち子

「以上で終了です。ところで皆さん。以前見学させてもらった時の、あの何ともいえない楽しい雰囲気を出してもらえたら…」ゲネプロの際演出家の飯田さんの一言。そうだ!! そうだった。私達「百人一首」の加賀美先生のお教室。スキップするような気分を込め促音満載で「とっても楽しいんでーすっ!!」この思いを会場に届けずして何とする。大勢ゆえの怖さも知った上での一人ひとりの自由な思いを声のぬくもりにのせて会場に届けられていたら幸いです。「チーム加賀美」会員 1 年生より 皆さんありがとう!!



羽村郁子

今回私は、二つのグループに参加。「忘れないでください 3.11」では震災を体験した私にとって、一際感慨深いものとなりました。「百人一首」では、一番近いところから先輩方の素敵な朗読を聞くことができ、まさに至福のひとときでした。まだまだ未熟な私です。加賀美先生から頂きました「型ではなく、心で読む」このお言葉を胸に、これからも精進致します。最後に、全ての方々へ、心からの感謝を! 有難うございました。



松永朱未

今年4月に入会したばかりですが、10周年記念公演に参加させて頂きありがとうございます。加賀美先生の百人一首の講座では、カルタ遊びでしか知らない私でも、すんなり入っていただけるご指導を受け短い文章の中に込められた意味や音、リズムに気付かされました。自分らしく自由で良いというのも嬉しく、緊張感のあるアンサンブルが生まれました。朗読に携わり新しい世界を持つ事が出来ました。



和田久美子

「朗読の日」、10周年という記念すべき年に初出演することができました。作品は夏目漱石の「夢十夜」。読み深めていくほどに、作品の表現方法に悩みました。そして、今回、私にとっての大きな課題は、緊張感をステージ上で、どうコントロールしたらよいか!ということでした。この試練を乗り越えられたのは、支えて下さった皆様のお蔭と感謝の気持ちで、当日、ステージに立ちました。



渡邊和子

<これから>2012.8～2012.12			
日時	公演名	場所	出演者名
8月18日	怪談の夕べ in 向島百花園	向島百花園	河崎早春
8月24.25日	怪談の夕べ	墨田区柳嶋妙見山法性寺	河崎早春
8月29日	ヒルズサロン朗読会～樋口一葉特集	六本木・ハリウッドビューティプラザ	熊澤南水・坂本有子・松島邦
9月15日	八重洲朗読会	八重洲ブックセンター	有賀康子・河崎早春・本間恵子・三上実枝子
9月15日	『椋の会』朗読会	シティ中野	松本由美子
9月29日	『木の実』朗読会	栃木総合文化センター	青木ひろこ
10月3日	『HIROの語り×チェロの調べ』	横浜・山手ゲーテ座	加藤敬子
10月6日	ひいらぎの会『大人のための童話の時間』	秋田市・ジョイナス小ホール	安倍眞壽美・塩田睦子
10月11日	ヒルズサロン朗読会	六本木・ハリウッドビューティプラザ	児玉朗・田中泰子
10月14日	朗読とライターが織りなす幽玄の響き	宇都宮・大谷かやぶきの家	青木ひろこ
10月14日	ランクスアイ朗読会	ランクスアイ	赤間立枝・佐々木富紀・田中邦子・松島邦
10月26日	青山の屋下がり	アイビーホール青学会館4F「クリノン」	望月鏡子・田中邦子・田中泰子
10月30日	いきものがたりⅢ ～狐～	乃木坂コレシアター	稲本由美子
11月17日	朗読とライターが織りなす幽玄の響き	北鎌倉・浄智寺書院	青木ひろこ
11月25日	能「藤戸」	矢来能楽堂	飯島晶子
11月25日	朗読と横笛によるコラボ	ホテルアーツメッツ宇都宮ゲストラウンジ	青木ひろこ
11月26日	かもめ朗読会	高輪区民センターホール	
11月27日	朗読グループ「オリオン」第8回リサイタル	ホテル銀座ラフィナート	阿部俐奈・秋山道子・海老原美雪・坪谷美穂子 古内恵美子・宮崎弥生・村井佑子・阿部義高
11月29日	朗読会	相模湖交流センター	小金洋子
12月7日	ものがたり図絵 そのⅢ ～江戸～	東京建物八重洲ホール	渡部玲子

○ 活動報告

新入会員オリエンテーションの初開催

松島邦 (運営委員：会員対応担当)

これまで、入会された方には「協会案内」の小冊子・関係資料を渡し、疑問や質問については事務局が電話・メールで対応していたが、もっと新入会員とのコミュニケーションを図り、要望・質問・ニーズを把握する為にも協会についての「説明会」が必要なので、5月15日(火)午後「第1回新入会員オリエンテーション」がクイーンルームで開かれた。対象者14人中10人の新会員が参加された。朗読歴の長い方も多く、中でも「朗読をすることで、何か人のお役に立ちたい＝ボランティアをしたい」という希望が際立って多かった。城所理事長の挨拶、山田事務局長からの協会内の大枠の案内、各担当者からの講座や協会イベントの紹介と参加の仕方、ボランティアグループかもめに関する説明を行った。(のちの報告では新入会員中7名が「かもめ」へ登録された)その後、朗読講師2人によるミニワークショップ・・・松森さん「発声について」、②稲本さん「野ばら／小川未明作」で声を出していただき、質疑応答も活発に行われた。更には6月の「朗読の日」の初のお手伝いにも数人の方が協力して下さいました。互いに顔見知りになり、会員同士の交流や活動参加にも繋がっていき、説明会の効があったかもと頼もしく感じ、今後も意欲的に且つ楽しく活動される事を祈っている昨今である。事務局では、旧会員を含めたオリエンテーションを年2・3回計画したいとのことで期待している。



小学校訪問〈古典〉朗読

坂本 有子

昨年から小中学校の国語の教科書に、古典が多く取り入れられるようになったとのこと。NPO 日本朗読文化協会では加賀美さんをはじめ講師の先生方は、皆さん古典に深くかかわっていらっしゃるの、小中学校での授業に即した古典朗読をさせていただけないものかと母校及び地元の小学校に打診してみところ、早速、番町小学校と麴町小学校でそれぞれ45分の時間をいただくことが出来た。ただ、古典と言っても両校で使用の国語教科書に出てくるのは、狂言の「柿山伏」であった。しかもどちらの学校でも7月に勉強することになっている。急なことでもあり、とりあえず松島、坂本の二名(掛け合い)で読ませていただいた。一通り読んで、後は6年生約100名を二つに分けて群読したり、なぞなぞのようなことをしたりした。熱心に耳を傾けてくれる児童も多く、女の子から「朗読が上手になるにはどうしたらよいですか?」と質問され、我々としては嬉しかった。訪問朗読については責任あることなので、前々より事務局と加賀美さんにはご相談していた。追って両校のその後のご感想やご意見も伺い、できれば来年につなげたいと思っている。まずは千代田区、港区あたりから始めて、本格的に協会プロジェクトとして、古典の勉強をしながら〈学校訪問朗読隊!〉を形作れるよう努力したいと思っている。因みに、どこの学校でもしている朝の15分の〈読み聞かせ〉とは全く別と考えている。

日 時：平成 24 (2012) 年 6 月 25 日 (月) 午後 2 時 0 分～3 時 0 分
場 所：港区赤坂区民センター 東京都港区赤坂 4-18-13 赤坂コミュニティー
ぶらざ内

議 長： 城所ひとみ

議事録署名人：早川とし子、田中邦子

総会に先立ち、城所理事長より、先に開催された 10 周年記念公演「朗読の日」が、入場者数多数、成功裏に終了した旨報告され、関係者並びに会員のご尽力に対して感謝の意が表された。定刻に至り司会が開会を宣し、本日の総会出席者数は、正会員数 138 名 出席者数 89 名 (内当日出席者 17 名、委任状 72 名) により、総会は定数を満たしたので有効に成立した旨報告された。

議 題：

第 1 号議案 議長選出の件

互選により城所ひとみ氏が議長に選出された。

第 2 号議案 議事録署名人選出の件

議事録署名人として早川とし子氏および田中邦子氏が選出された。

第 3 号議案 役員改選の件

任期満了により、下記 7 名の理事と 1 名の監事について、議長より提案され、全会一致で承認可決された。尚、被選任者は何れもその就任を承諾した。

平成 24 年度役員 (理事・監事)

理事

天沼 澄夫	朗読プロデューサー
有賀 康子	朗読家
飯島 晶子	朗読家
飯田 輝雄	演出家
城所 ひとみ	港区環境影響調査審査会
松野 正義	(株)インターナショナル・カルチャー
茂木 英治	(株)テレビ朝日・社友

監事

伊澤 逸平 元(株)八重洲ブックセンター

第 4 号議案 2011 (平成 23) 年度事業報告書並びに収支決算書承認の件 (総会資料 2 参照)

山田事務局長より配布済み資料をもとに平成 23 年度収支決算報告がなされ、引き続き、伊澤監事より 5 月 9 日付け下記監査報告書を受領済であることが報告された。

「私は、平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日までの第 11 回会計年度における会計監査を行い、次のとおり報告いたします。1. 監査の方法の概要会計監査について、会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて財務諸表及び収支計算書の正当性を検討致しました。2. 監査の結果、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに収支計算書は、会計帳簿の記載と一致し、NPO 日本朗読文化協会の財政状態、正味財産増減及び収支の状況を正しく示しているものと認めます。」

その後、2011 (平成 23) 年度事業報告書並びに収支決算書は全会一致で承認可決された。

第 5 号議案 2012 (平成 24) 年度事業計画案並びに収支予算案承認の件 (総会資料 3 参照)

添付書類をもとに、事業計画及び収支予算について山田事務局長から説明がなされた。

10 周年記念公演「朗読の日」

朗読教室

第 6 回朗読コンクール

平和への祈り

およびその他事業、平成 24 年度収支予算

平成 24 年度の収支予算は朗読教室収入の減少およびホームページリニューアル等による管理費増加により 40 万円の赤字予算となる。

質疑応答の後、2012 (平成 24) 年度事業計画案並びに収支予算案は、全会一致で承認可決された。

議長より、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べられ閉会した。

上記のとおり通常総会の議事に相違無いことを証するため、ここに議長及び議事録署名人が記名・捺印する。

平成 24 年 6 月 25 日

議長 城所ひとみ 印

議事録署名人 早川とし子 印

議事録署名人 田中邦子 印

※平成 23 年度事業報告書及び平成 24 年度事業計画案に朗読ボランティアグループかもめの具体的な活動記載がないことが指摘され、次回から掲載することに決まりました。

「声に出す平和への祈り」

～伝えよう未来へ、平和の守り手として～

日時：平成 24 年 8 月 15 日 (水) 14:00 開演

会場：港区立高輪区民センターホール・無料

主催：港区 企画制作：NPO 日本朗読文化協会

・港区立青山中学校有志による朗読

『いわたくんちのおばあちゃん』

・おはなし 『被爆おばあちゃんへの手紙』 吉兼 実

・ギター演奏 下山 亮平

・NPO 日本朗読文化協会有志による『無言館』

戦没画学生の絵によせての朗読

・《 献読 》

ヒルズ・サロン朗読会

日時：平成 24 年 8 月 29 日 (水) 18:00～20:00

会場：ハリウッドビューティプラザ 4F

会費：3,000 円

定員：28 名

プログラム：朗読 <樋口一葉 特集>と

美メニュー と ワインの時間

「たけくらべ」 松島 邦

「十三夜 (下)」 坂本有子

「にぎりえ」 熊澤南水

会員情報

- 2012 年 6 月、7 月下記 5 名の方が入会されました。
金山 貞雄、篠原 千枝、吉田 遼平 (学生)、
天沼 澄夫、白井 ユカリ
- ご寄附：岡田雅之様 (新潮社)、熊澤南水様に『朗読の日』公演会場においてご寄附いただきました。
- 事務局からのお知らせ
8 月 21 日 (火)～23 日 (木) の 3 日間 事務局はお盆休みでクローズとなります。

編集後記

「お暑うございます」がこのところのご挨拶。この暑さ長期予報では 9 月一杯続くとか。体もつのかなあ～と不安になるのは私だけではないはず。10 周年記念の博品館「朗読の日」が無事終わりほっと一息ですね。朗読ニュース夏号の特集は昨年ご好評だった「朗読の日」写真特集です。1 人 4、50 枚の写真の中から 1 枚ずつパソコンの画面に呼び出し、その方のベストの表情のものを 1 枚選ぶのは責任重大です。8 月 15 日 14 時から高輪区民センターで行われる「声に出す平和への祈り」に皆さんと一緒にいらっしやいませんか。

朗読ニュース編集室 山田和雄 佐々木富紀 早川とし子

朗読ニュース 2012 年夏号 (通巻 31 号) 発行日 2012 年 8 月 9 日

発行 NPO 日本朗読文化協会 理事長 城所ひとみ

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-8-8 赤坂フローラルプラザビル 3F

TEL: 03-3584-4451 FAX: 03-3584-4452

e-mail: npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/

瀬戸内寂聴 訳「源氏物語」



源氏物語 上原まり

瀬戸内寂聴訳

千年前の王朝の世界へ誘います

- ◆ 空蟬・夕顔 KICG15070
- ◆ 明石・松風・薄雲 KICG15071
- ◆ 若紫(上・下) KICG15072
- ◆ 紅葉賀・花宴 KICG15073
- ◆ 葵(上下) KICG15074
- ◆ 玉鬘(上・下) KICG15075



好評発売中

CD全6タイトル 定価・各2,000円(税込)



源氏物語

瀬戸内寂聴訳

心と心が響きあう朗読の魅力

- (Disc 1) ① 桐壺 ② 藤壺 ③ 空蟬 ④ 夕顔 ⑤ 若紫
- (Disc 2) ① 末摘花 ② 朧月夜 ③ 六条の御息所 ④ 明石 ⑤ 源氏物語の魅力

好評発売中

KICG-5068~69 CD2枚組 定価3,000円(税込)

《第42回》日本レコード大賞[企画賞]受賞作品!

昔話ふるさとへの旅

21世紀へつなげたい「ふるさとの昔話」。全国47都道府県を地元の言葉で現地録音。

全47タイトル 好評発売中 各定価¥2,000(税込)



「ふるさと」がいろいろあります。温かく、優しく迎えてくれる。

(CD全47タイトル) ■KICG-3181~3227 ジャケット表紙絵:鈴木ひろえ

市原悦子さんのナレーションで始まる「昔話」。

7年の歳月をかけて現地の語り手によって、生の声を現地収録いたしました。貴重な伝承文化遺産である「昔話」は、大人や子供達にとって大切な「心のふるさと」です。

7年の歳月をかけて現地で収録した全国47都道府県の「ふるさとの昔話」の数々。かつて「昔話」は、子供達への楽しみや教訓、日常生活意識を反映しながら語られて来ましたが、情報文化の発達した今日、「昔話」は大変貴重な日本の伝承文化財産となっています。このCDでは全国のそれぞれの地域に昔から伝わる「昔話」を中心に、現地の語り手によって地元の言葉で現地収録しました。大人や子供達にとっていつまでも「心のふるさと」として、今後私達の生活の中で育まれていきますことを、心から願っています。

美しい 日本語

全65タイトル好評発売中!

(全65タイトル) ■KICG-3181~3227



美しいことばと豊かな心

Roudoku Series

朗読CDシリーズ心の本棚

【第一弾】 【第二弾】

CD全15タイトル 各¥2,000円(税込) CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

【第三弾】日本の詩歌

CD全15タイトル 各¥2,000円(税込)

【第四弾】名作を聴く

CD全10タイトル 各¥2,000円(税込) / 2枚組各¥3,500円(税込)

【第五弾】日本人のこころと品格

CD全10タイトル 各¥2,000円(税込)

■詳しい資料をご希望の方は キングレコード株式会社 〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 ストラテジックマーケティング本部 制作第二グループ 03-3945-2119

キングレコードの朗読CDはお近くのレコード店でお求め下さい。又は下記へ直接お申込み下さい。

●下記によるご注文の商品の送料(¥600)はお客様のご負担となります。

フリーダイヤル 0120-340-670 インターネット <http://www.kingrecords-eshop.jp> (キングレコード・イー・ショップ)



KING RECORDS

FAX 03-3945-9086

ハガキ

〒112-0013 東京都文京区音羽1-2-3 キングレコード(株)内キングダイレクトアクセス行

※キングレコードの情報は <http://www.kingrecords.co.jp>

h/ramaTV